

## わが家の防災メモ

- ◆電話は、あわてずに落ち着いて
- ◆住所・氏名・目標物を忘れずに

### 正しい119番通報

- 1 消火も通報も自分でしようとすると、余計にあわててしまい、結果的にどちらも遅れてしまいます。「119番してー」と、大声を出すことも大切です。
- 2 ①火事ですか、救急ですか？ ②場所とお名前を ③目標となるものは？ 消防の質問に応じて、冷静に答えましょう。



住 所	目標物
氏 名	電 話

### 家族や親戚などの連絡先

名前	勤務先・学校等	電話番号	備考

### 避 難 場 所

避難場所名	電話番号
家族が離ればなれになったときの集合場所	電話番号

火事・救急 119番

川西消防署・・・0268-31-0119

青木村役場

0268-49-0111

警察への急報 110番

上田警察署・・・0268-22-0110

青木村駐在所・・・0268-49-2030

電気・ガス・水道・下水道・電話

中部電力株上田営業所・・・0120-984-520

青木村役場住民福祉課上下水道係・・・0268-49-0111

NTT東日本関信越上田営業支店・・・0268-24-4000



〒386-1601  
長野県小県郡青木村大字田沢111  
TEL(0268)49-0111  
FAX(0268)49-3670

# 地すべりハザードマップ



この地すべりハザードマップは、地すべり区域に該当する地区のみ、掲載しています。

よって、掲載のない地区もございますが、**洪水ハザードマップ (平成19年作成)**、**土砂災害ハザードマップ (平成26年作成)**に指定され、掲載されている区域がありますので、併せてご確認いただきますようお願いします。

発

刊

に

あ

た

つ

て

村民のみなさんには、日頃から防災・減災行政の推進に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今回、青木村洪水ハザードマップ(平成19年作成)、青木村土砂災害ハザードマップ(平成26年作成)に続き青木村地すべりハザードマップを発行することになりました。この地すべりハザードマップは、長野県が実施した砂防基礎調査に基づき指定された地すべり警戒区域を示したものです。(本村の地すべり警戒区域は、「警戒区域(イエローゾーン)」のみで、「特別警戒区域(レッドゾーン)」はありません。)

3種類のハザードマップ(洪水、土砂災害、地すべり)を有効にご活用いただき、防災対策に役立てていただけようお願いいたします。

平成29年8月

青木村長  
北村 政夫

ご活用に  
あたって

この地すべりハザードマップは、地すべり区域に該当する地区のみ、掲載しています。

よって、掲載のない地区もございますが、洪水ハザードマップ(平成19年作成)、土砂災害ハザードマップ(平成26年作成)に指定され、掲載されている区域がありますので、併せてご確認いただきますようお願いします。

## 青木村地すべりハザードマップについて

この地図は、土砂災害防止法に基づき、土砂災害のある区域ならびに洪水で危険性のある区域について示し、避難する際の避難所、避難施設などを記載したものです。

- ・日頃からこのハザードマップを使い、自分の家の位置や家の周辺の危険箇所を確認しておきましょう。
- ・自分の家の避難所および広域避難施設を確認し、避難先までの安全なルートを考えておきましょう。

## 目次

目次・NTT災害伝言ダイヤル	・P 1	地震発生その時どうする	・P 8
災害に備えて	・P 2	避難時の心得	・P 9
配置図	・P 3~4	特別警報・警報・注意報	・P 10
土砂災害	・P 5	ハザードマップ	・P 11~26
情報伝達	・P 6	避難施設一覧表	・P 27~28
風水害は気象情報に注意	・P 7	我が家の防災メモ	裏表紙に記載

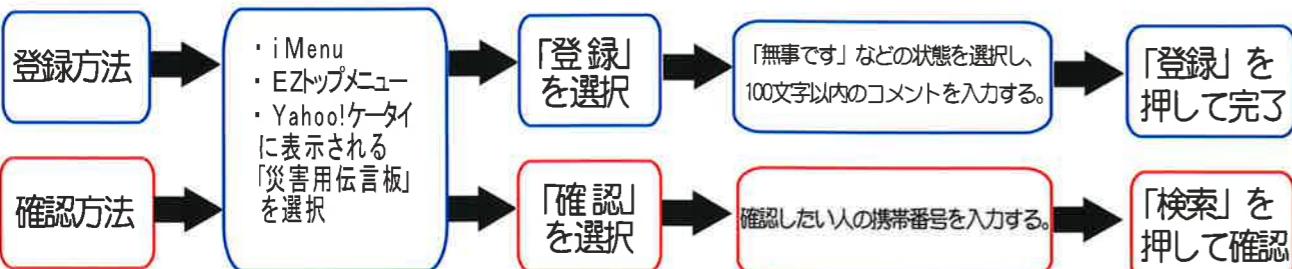
## ●NTT災害用伝言ダイヤル「171」●

- NTT災害用伝言ダイヤルは、地震、豪雨などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、一般電話がつながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。
- 被災地内の方も、被災地以外の方も、被災地の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
- 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている方が聞くことができます。(一般加入電話・公衆電話・携帯電話等からご利用になります。)

災害伝言ダイヤル 171



災害用伝言板(携帯電話・パソコン用)



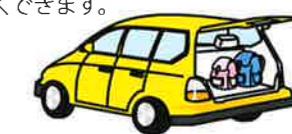
アドレス▼<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>▼<http://dengon.ezweb.ne.jp/>▼<http://dengon.softbank.ne.jp/>

## 災害に備えて

### 非常持ち出し品の準備・点検

#### 非常持ち出し品の大原則

- 男性1人15kg、女性1人10kg程度を目安に
- 非常持ち出し品はリュックで!
- 1人に1個の非常袋を用意する  
非常持ち出し品の準備に家族全員が参加すれば、防災意識が高まり、必要なものを入れ忘れるかもしれません。また、みんなで分担して持てば重量も軽くできます。
- 車のトランクに非常袋を入れておく  
車を運転しているときに地震が起こることもあります。また、家が倒壊したような場合にも、取り出して使える利点があります。
- 非常袋は何箇所かに分散して保管する  
家具が倒れたような場合、非常袋が取り出せなかったり、中のものが使えなくなるケースも考えられます。庭やベランダなどにも、分散して保管しておきましょう。
- 「わが家の防災の日」を決めて中身を点検する  
半年に1回程度、定期的に中身をチェックし、期限切れのものは入れ替えましょう。あらかじめ「わが家の防災の日」を決めておくと忘れずにすみます。
- 「わが家」に応じた「無くてはならない」ものを準備する



#### 非常時持出品

##### 避難時にまず持ち出す

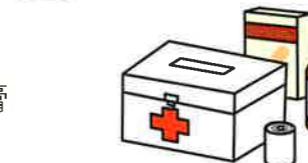
- 生活用品
  - 衣類・下着 □タオル
  - ティッシュ □懐中電灯
  - 携帯ラジオ・予備電池など



- 貴重品
  - 現金(要10円玉)
  - 通帳・印鑑
  - 権利証書
  - 健康保険証など



- 非常食関係
  - 飲料水
  - 乾パン
  - 紙皿など食器
  - 缶切りなど



- 救急医療品
  - 傷薬・包帯・絆創膏
  - かぜ薬・胃腸薬
  - 常備薬



#### 非常時備蓄品

##### 災害復旧までの数日間分(最低3日)を準備する

- 生活用品
  - 毛布・寝袋
  - 新聞紙
  - 洗面用具
  - 鍋・やかん
  - トイレットペーパー
  - 筆記用具
  - バケツなど



- 非常食
  - 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
  - 保存食(缶詰やレトルト食品など)
  - チョコレートなどの菓子類
  - 調味料など



- 燃料
  - 卓上コンロ □携帯コンロ
  - ガスボンベ □固形燃料

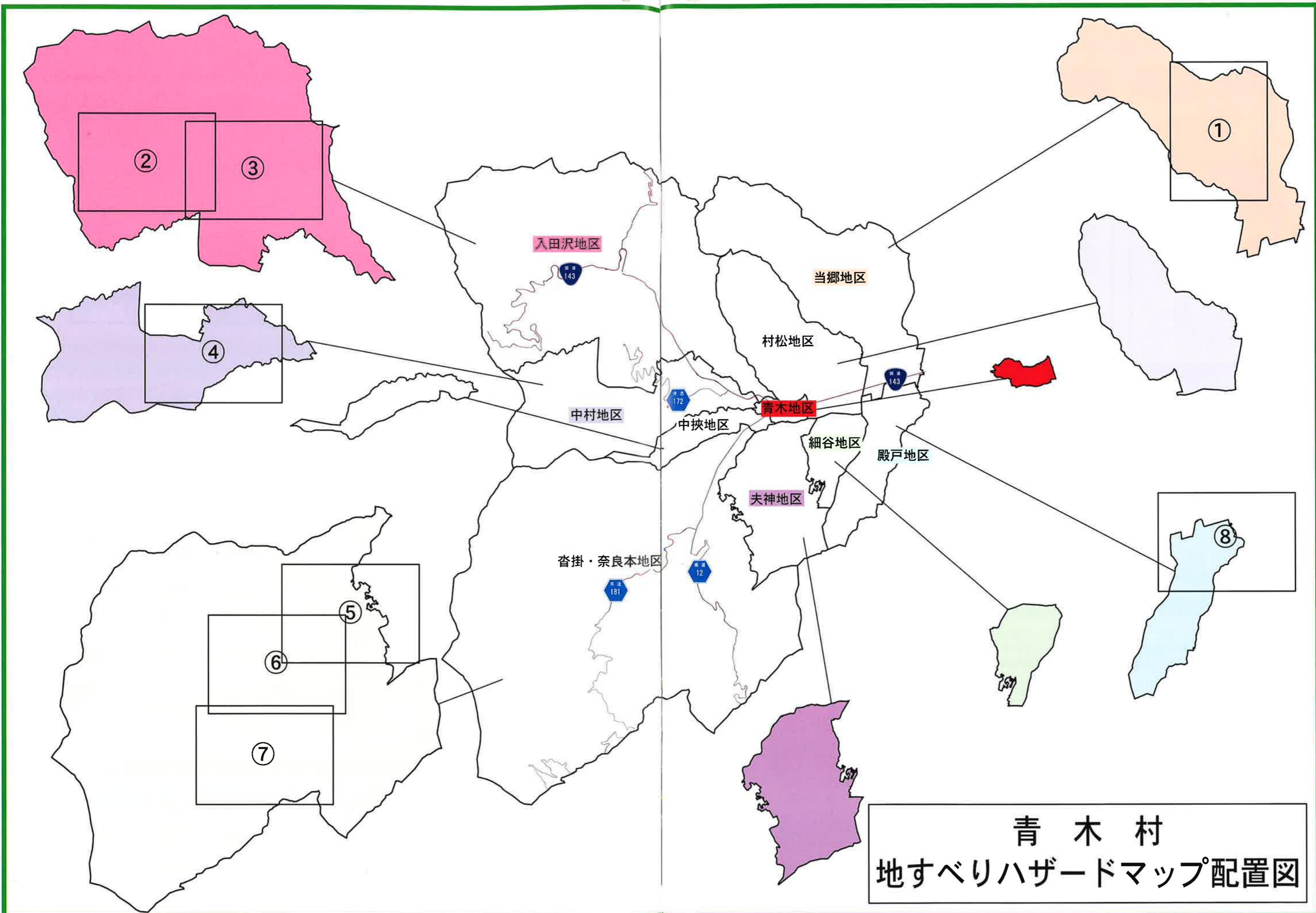
#### 自分たちの地域は自分たちで守る

##### 自主防災組織の活動(平常時)

- 防災知識の普及
- 地域の災害危険箇所の把握
- 防災訓練の実施
- 火気使用設備器具等の点検
- 防災資機材の備蓄と整理・点検

##### 自主防災組織の活動(災害発生時)

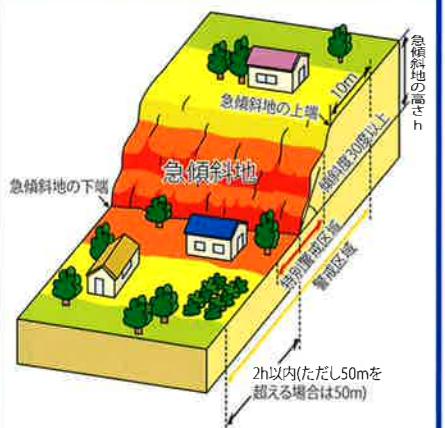
- 災害情報の収集、住民への迅速な伝達
- 出火防止と初期消火
- 避難誘導、避難所の管理・運営
- 被災住民の救出・救護
- 給食・給水



# 土砂災害

## 土砂災害の種類を知ろう

### がけ崩れ



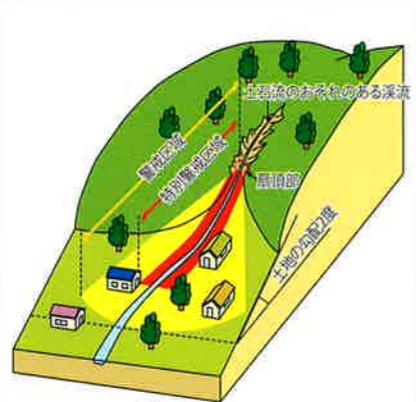
がけ崩れは、急な斜面で突然に起り、瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

### 前ぶれ

- がけから水が湧き出る
- がけから小石がぱらぱら落下
- 湧水のにごり
- がけから小石がぼろぼろ落下
- 亀裂の発生

### がけ崩れ発生

### 土石流



土石流は、谷筋で起りますので、土砂などが水といっしょに流れ下り、スピードが速く大きな破壊力を持っています。

### 前ぶれ

- 山鳴り・地鳴り
- 流木発生・渓流内の転石の音
- 水位の急激な低下

### 土石流発生

### 地すべり



地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動き出しますので、速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

### 前ぶれ

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- がけや斜面から水がふき出す
- 樹木が傾いたり倒れたりする

### 地すべり発生

## 土砂災害防止法の警戒区域・特別警戒区域について

土砂災害の恐れのある区域を「土砂災害警戒区域」と呼びます。その中でも家屋を破壊し、人命に危害のおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域」と呼んで区別しています。これらの区域は、長野県が砂防基礎調査を実施した後、市町村長の意見を聞きながら県知事が指定し、県民のみなさんに公示しています。

### 警戒区域 通称（イエローゾーン）

土砂災害の  
おそれがある区域

危険の周知、  
警戒避難体制  
の整備が行わ  
れます。

### 特別警戒区域 通称（レッドゾーン）

建物に損害が生じ  
住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

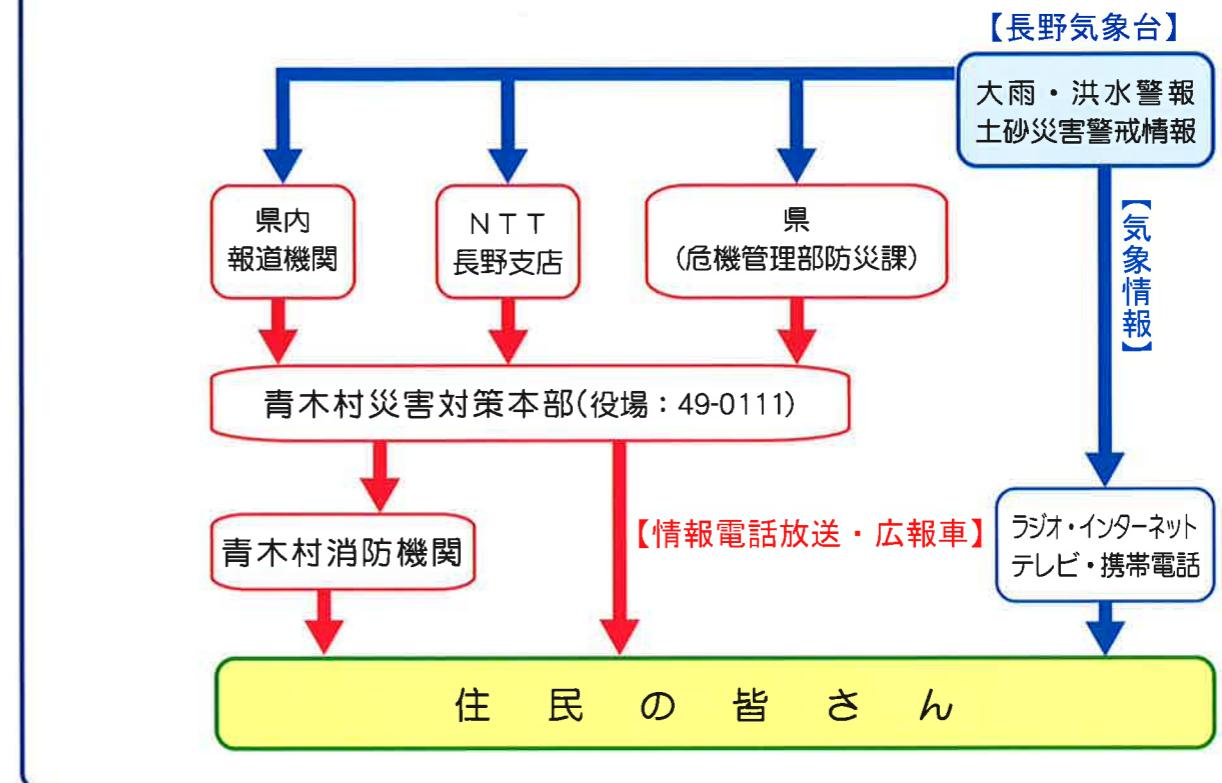
特定の開発行為に、  
対する許可制、  
建築物の構造規制  
等が行われます。

※詳しくは「長野県 土砂災害防止法」で検索

# 情報

## ● 情報の伝達経路 ●

お近くで災害が発生したら、災害対策本部へ、その状況をお知らせください。本部では、皆さんから寄せられた情報をもとに、下記の経路により避難勧告等の指示を伝達します。



## 防災関係機関一覧

### 防災関連施設

施設名称	電話番号
青木村役場	49-0111
青木村役場住民福祉課上下水道係	49-0111
青木村駐在所	49-2030
上田警察署	22-0110
川西消防署	31-0119
青木診療所	49-2031
宮原歯科医院	49-2112
上田市内科・小児科初期救急センター (信州上田医療センター敷地内)	小児科 21-2233 内 科 21-2280
上田小県歯科医師会 休日歯科救急センター	24-8020
中部電力(株)上田営業所	0120-984-520

# 風水害は気象情報に注意

台風や豪雨の威力は計り知れません。事前の対策で被害を最小限に抑えることが大切です。

## 雨の降り方

1時間 30mm 以上、連続 100mm 以上の雨が降るときには、注意が必要です

(気象庁 雨の強さと降り方より)



やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に 10mm以上～ 20mm未満	1時間に 20mm以上～ 30mm未満	1時間に 30mm以上～ 50mm未満	1時間に 50mm以上～ 80mm未満	1時間に 80mm以上～
ザーザーと降ります。 地面からはね返りで 足下が濡れます。 この程度の雨でも長く 続くときは注意が必要 です。	どしゃ降りです。 傘をさしていても濡れ ます。側溝や下水、小 さな川があふれ、小規 模のかけ崩れが始ま ります。	バケツをひっくり返し たように降ります。道 路が川のようになります。 山崩れ・かけ崩れが起 きやすくなり、危 険地帯では避難の準備 が必要です。	滝のように降ります。 水しぶきであたり一面 が白っぽくなり、視界 が悪くなります。土石 流が起こりやすく多く の災害が発生します。	息苦しくなるよう な圧迫感があり、恐怖 を感じます。雨によ る大規模な災害が発 生する恐れが強く、 厳重な警戒が必要で す。

## 集中豪雨とは

集中豪雨とは、短時間のうちに狭い地域に集中して大量の雨が降ることをいいます。集中豪雨は梅雨の時期や台風のシーズンに発生しやすく、狭い地域に限定して起こる現象であるため、予測が難しい面があります。最近は1時間に100mm近い雨が降ることも珍しくなくなり、洪水やかけ崩れなどで大きな被害が出ることもあります。突発的で局地的な豪雨はゲリラ豪雨と呼ばれることもあります。



## 風の強さと吹き方



(気象庁 提供)

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風速 10m/s 以上～ 15m/s 未満	風速 15m/s 以上～ 20m/s 未満	風速 20m/s 以上～ 25m/s 未満	風速 25m/s 以上～ 30m/s 未満
おおよそ～ 50km/h	おおよそ～ 70km/h	おおよそ～ 90km/h	おおよそ～ 110km/h

取りつけの不完全な看板やトタン板が飛び始める。樹木全体が揺れる。

風に向かって歩けない。転倒する人もいる。小枝が折れる。

しっかりと体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。

立っていられない。樹木が根こそぎ倒れ始める。ブロック塀が壊れる。

屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始ま。

\*表に示した風速は10分間の平均風速です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍から3倍以上になることがあります。

# 地震発生そのときどうする？

自分や家族の安全を守るために、地震が発生しても、慌てず行動できるかがポイントになります。いざというときにパニックにならないように、地震発生から3日間くらいの標準的な行動/パターンをしっかりと覚えておきましょう。

## 地震が起きたら

最初の大きな揺れは1分程度。  
まず身の安全を守る

家のなかで地震が起きたら、家具の転倒や落物に気をつけて丈夫なテーブルや机の下で身を守りましょう。



地震発生!

2~5分 火元を確認し火災発生を防ぐ。コンセントを抜く

調理器具や暖房器具など火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をしましょう。出火した場合は、落ちついで消火器で消火してください。



5~10分 脱出口を確保し、協力して避難

地震の震動で戸が開かなくなることがあります。まず、戸を開けて避難出口を確保しておきましょう。揺れがおさまったら、家族、とくに高齢者、幼児、病人などを保護しながら避難を始めます。



10分～ ラジオなどで正しい情報を集める

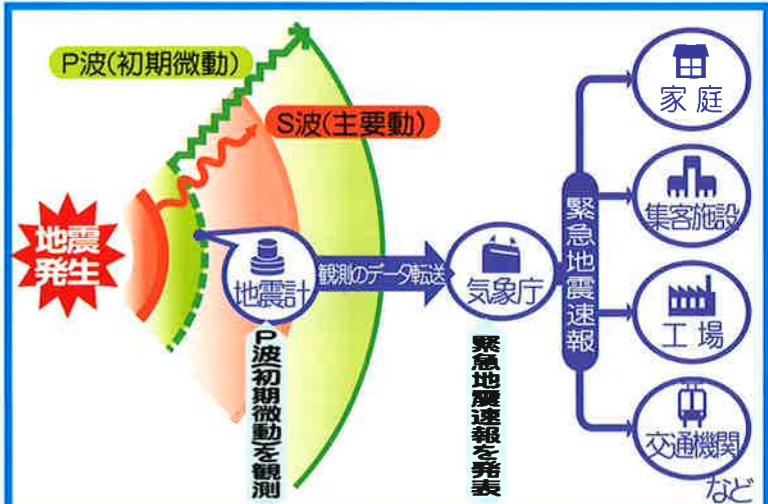
うわさやデマなど間違った情報にまどわされないで、テレビやラジオで正しい情報を確かめて行動しましょう。



## 避難するときは

## 緊急地震速報

地震による強い揺れを事前(揺れる前)にお知らせするための情報です。



緊急地震速報は、地震により予想される震度が5弱を超えた時に発表され、テレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンで報知音がなります。受信端末などでは、利用者が独自に設定した基準を、予想する震度が超えたときに報知音がなります。

## 避難時の心得

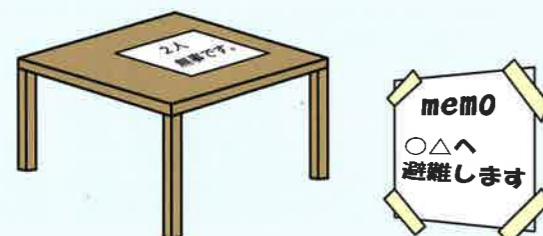
1 避難する前に、もう一度火元を確かめる  
(ガスは元栓を締めブレーカーも切る)



2 お年寄りや子供には声をかけ、出来るだけ集団で指定された避難場所へ向かう



3 家には避難先や安否情報を記したメモを残す



4 車は使わず、必ず徒歩で避難する



## 洪水になった時の歩き方



●歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmです。水深が腰まであるようなら無理は禁物です。高所で救助を待ちましょう。

●水面下にはどんな危険が潜んでいるかわからません。長い棒を杖代わりにするなど、安全を確認しながら歩きましょう。

●水の中を歩くときは、ひもでしめられる運動靴がよいでしょう。裸足、長靴は禁物です。

●はぐれないように、お互の身体をロープで結んで避難しましょう。特に子供から目を離さないように注意しましょう。  
●お年寄りや身体の不自由な人などは背負いましょう。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保して避難します。

## 特別警報・警報・注意報

日頃から気象情報や空模様に注意をして、早目の行動をとることで自然災害による被害を最小限にあさることができます。気象庁が発表する注意報や警報、特別警報などの気象情報に注意しましょう。

### 特別警報とは



### 土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難の判断の参考となるよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

長野地方気象台は、大雨や強風などの気象現象によって、災害が起こるおそれのあるときには「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときには「警報」を発表して警戒を呼びかけていましたが、これに加え、

**重大な災害がおこるおそれがある場合**  
には「**特別警報**」を発表して、最大限の警戒を呼びかけています。

非常事態  
たゞちに命を守る行動を!!



村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難! 外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動。冷静な判断が大切。周囲の状況に応じた行動を!!

### 特別警報基準

長野地方気象台が発表する特別警報基準

種類	発表基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。

普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

① 当郷地区  
TOUGOU Area



地図記号の凡例  
Map Legend

	行政界 Administrative boundaries
尤	避難場所 / 避難施設 Evacuation areas
援	災害時要援護者施設 Support person facilities
(H)	物資輸送拠点及び拠点ヘリポート Transportation base of goods and base heliport
心	AED 設置場所 AED Installation facilities
・	目印となる建物 Landmark
國道 143	国道 National Road
県道 112	県道 Prefectural Road

警戒区域の凡例  
Post Legend

土砂災害特別警戒区域 Special sediment disaster alert areas
土砂災害警戒区域 Sediment disaster alert areas
地すべり警戒区域名称 Landslide alert areas name
浸水想定区域の凡例 Flooding assumption district legend
浸水深 0.5m 未満の区域 Flooding Depth Less than 0.5m
浸水深 0.5 ~ 1.0m の区域 Flooding Depth Between 0.5m and 1.0m
浸水深 1.0 ~ 2.0m の区域 Flooding Depth Between 1.0m and 2.0m
浸水深 2.0 ~ 5.0m の区域 Flooding Depth Between 2.0m and 5.0m
浸水深 5.0m 以上の区域 Flooding Depth Between 5.0m

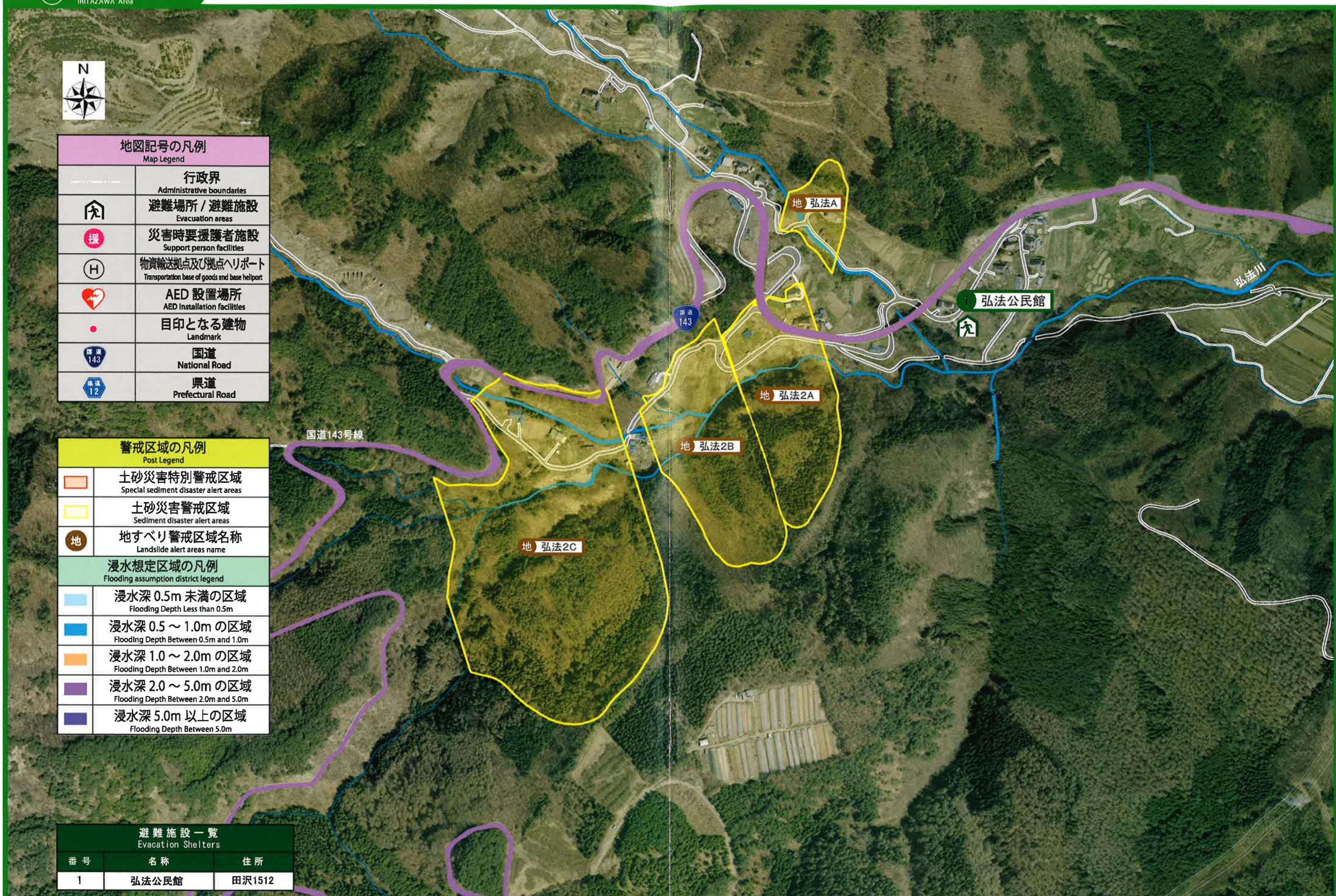
避難施設一覧  
Evacuation Shelters

番号	名称	住所
1	当郷公民館	当郷829



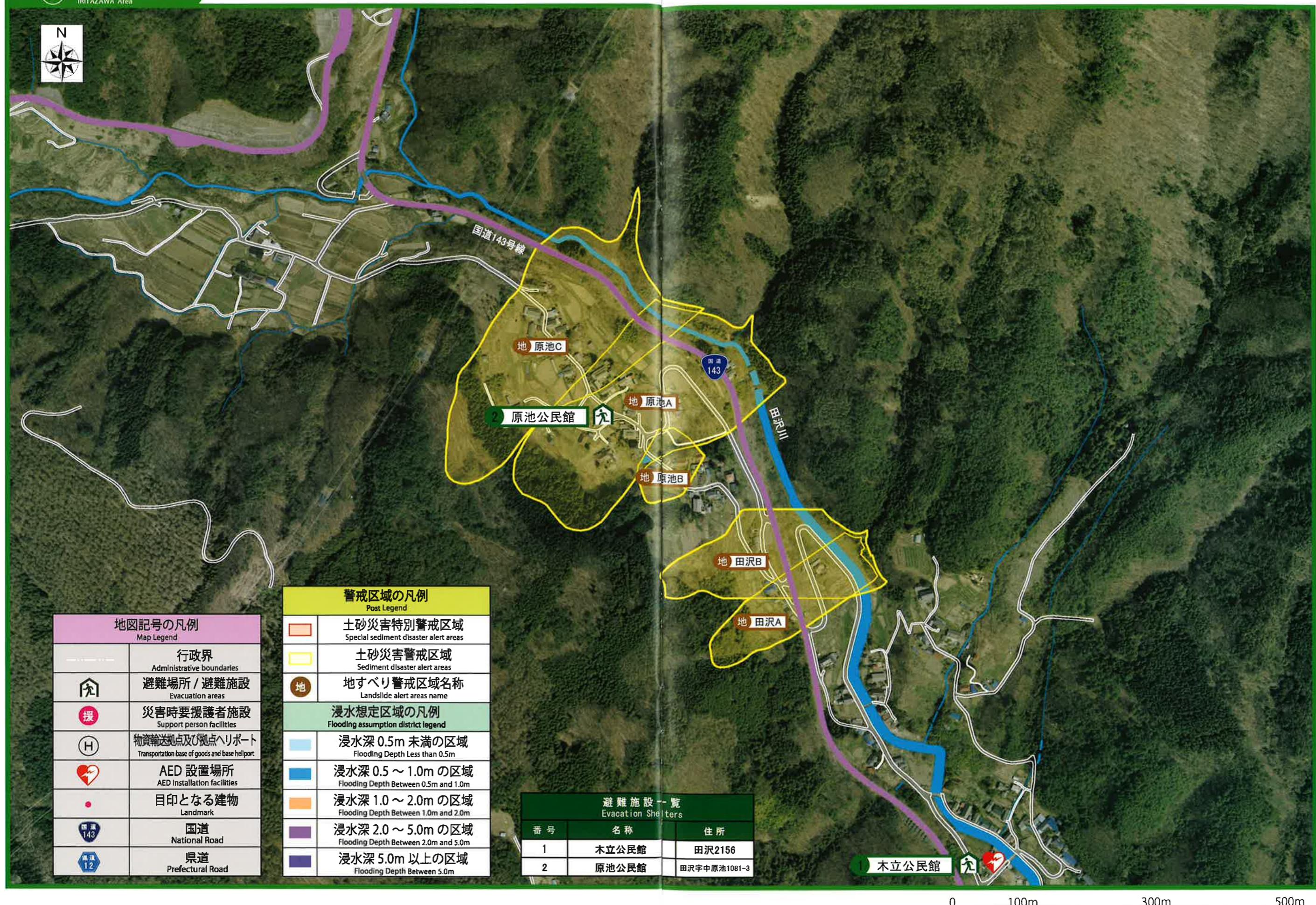
縮尺：1/5000 0 100m 300m 500m

② 入田沢地区①  
IRITAZAWA Area



縮尺：1/5000 0 100m 300m 500m

③ 入田沢地区②  
IRITAZAWA Area



④ 中村地区  
NAKAMURA Area



地図記号の凡例  
Map Legend

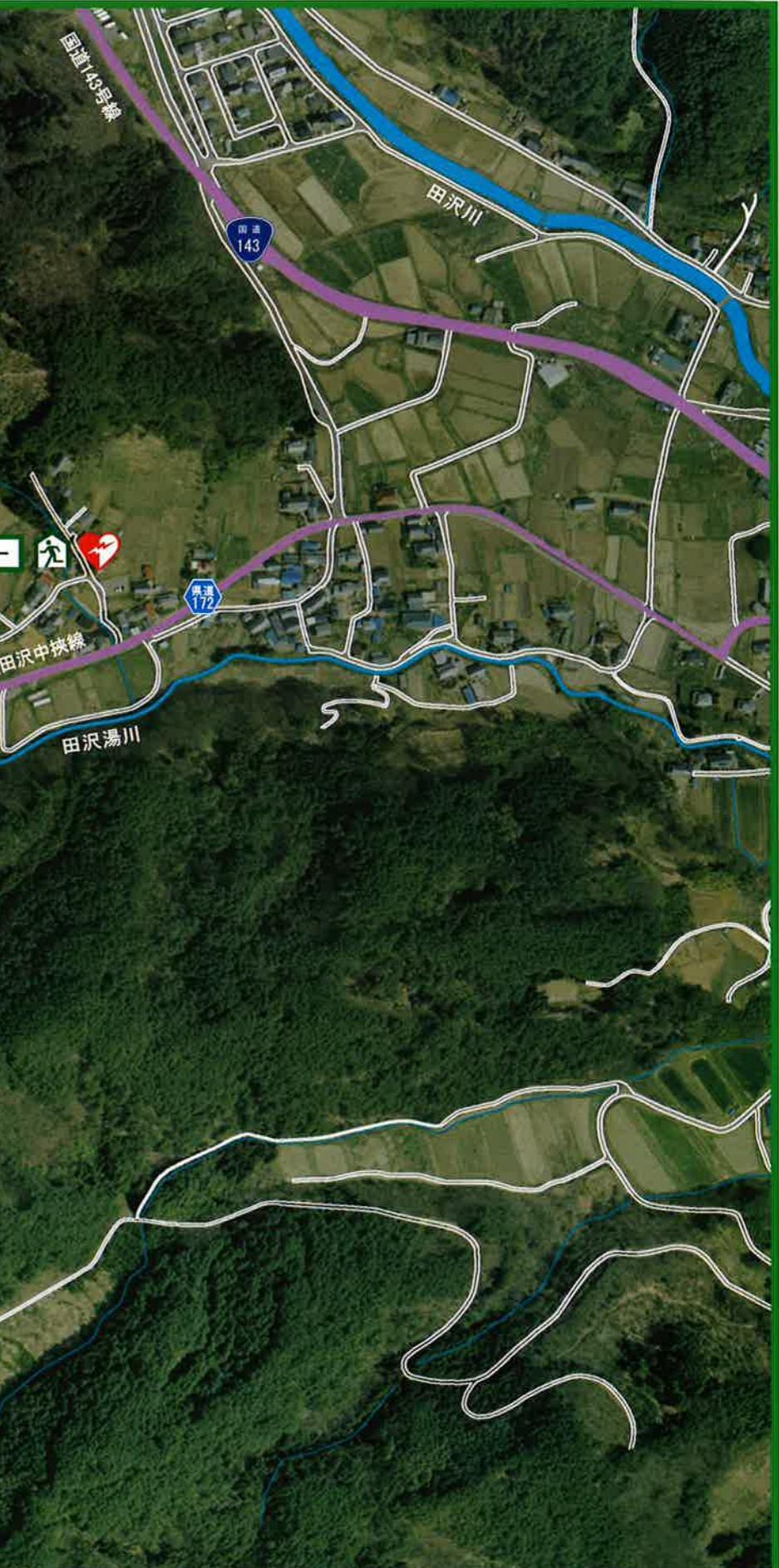
	行政界 Administrative boundaries
丸	避難場所 / 避難施設 Evacuation areas
援	災害時要援護者施設 Support person facilities
(H)	物資輸送拠点及び拠点ヘリポート Transportation base of goods and base heliport
心	AED 設置場所 AED Installation facilities
●	目印となる建物 Landmark
国道 National Road	国道 National Road
県道 Prefectural Road	県道 Prefectural Road

警戒区域の凡例  
Post Legend

赤	土砂災害特別警戒区域 Special sediment disaster alert areas
黄	土砂災害警戒区域 Sediment disaster alert areas
地	地すべり警戒区域名称 Landslide alert areas name
浸水想定区域の凡例 Flooding assumption district legend	
青	浸水深 0.5m 未満の区域 Flooding Depth Less than 0.5m
緑	浸水深 0.5 ~ 1.0m の区域 Flooding Depth Between 0.5m and 1.0m
オレンジ	浸水深 1.0 ~ 2.0m の区域 Flooding Depth Between 1.0m and 2.0m
紫	浸水深 2.0 ~ 5.0m の区域 Flooding Depth Between 2.0m and 5.0m
黒	浸水深 5.0m 以上の区域 Flooding Depth Between 5.0m

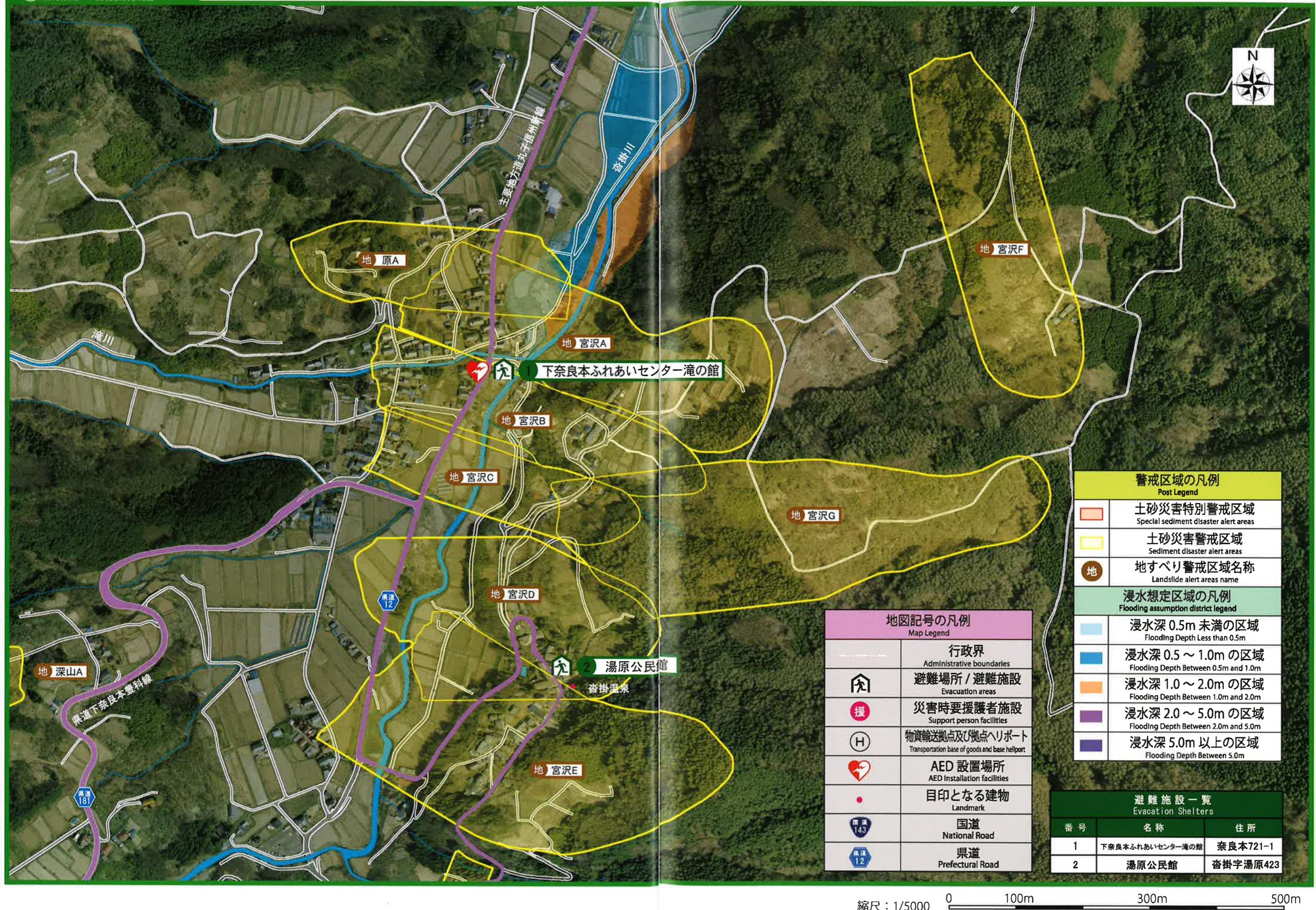
避難施設一覧  
Evacuation Shelters

番号	名称	住所
1	中村生活改善センター	田沢2375

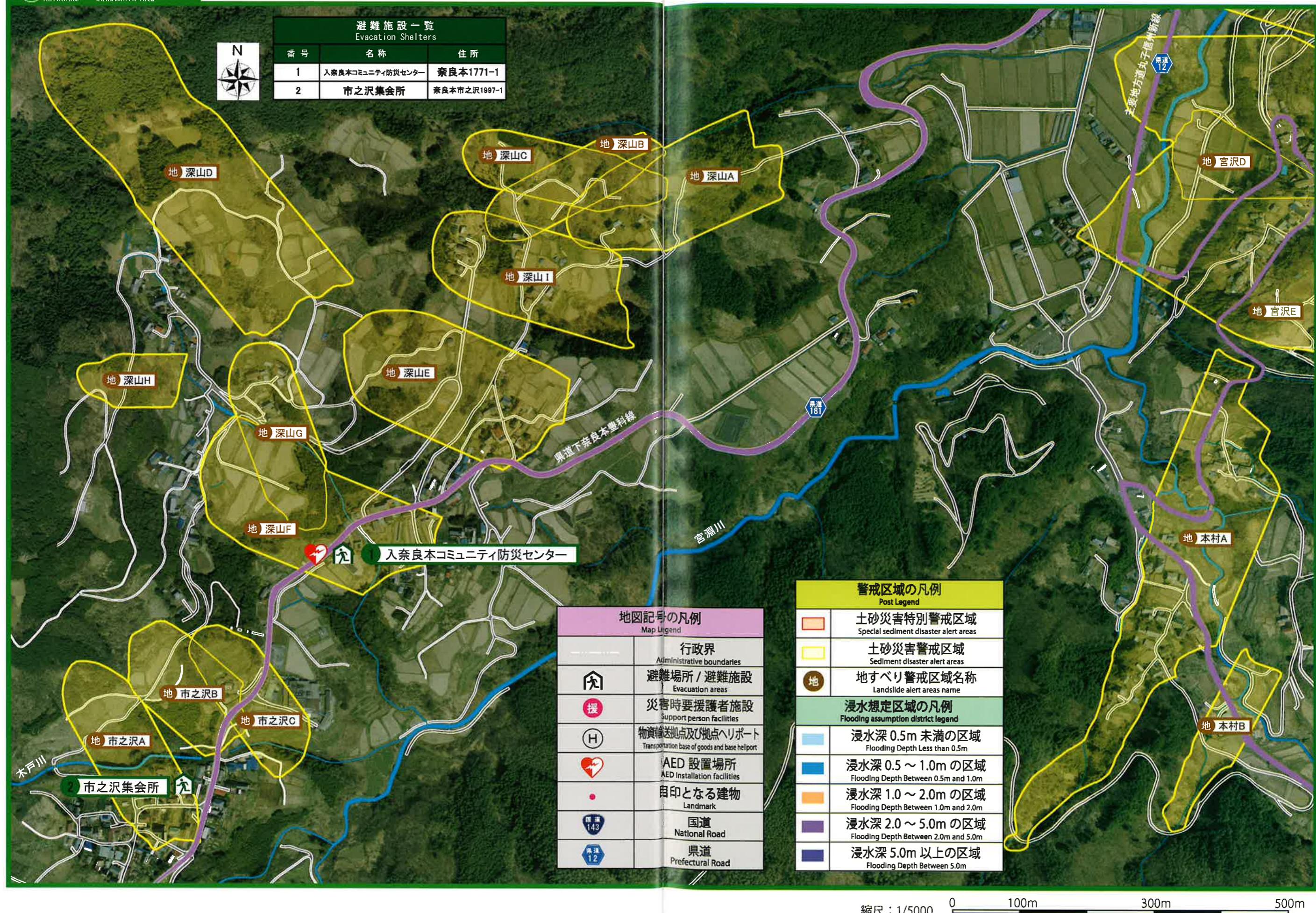


縮尺：1/5000 0 100m 300m 500m

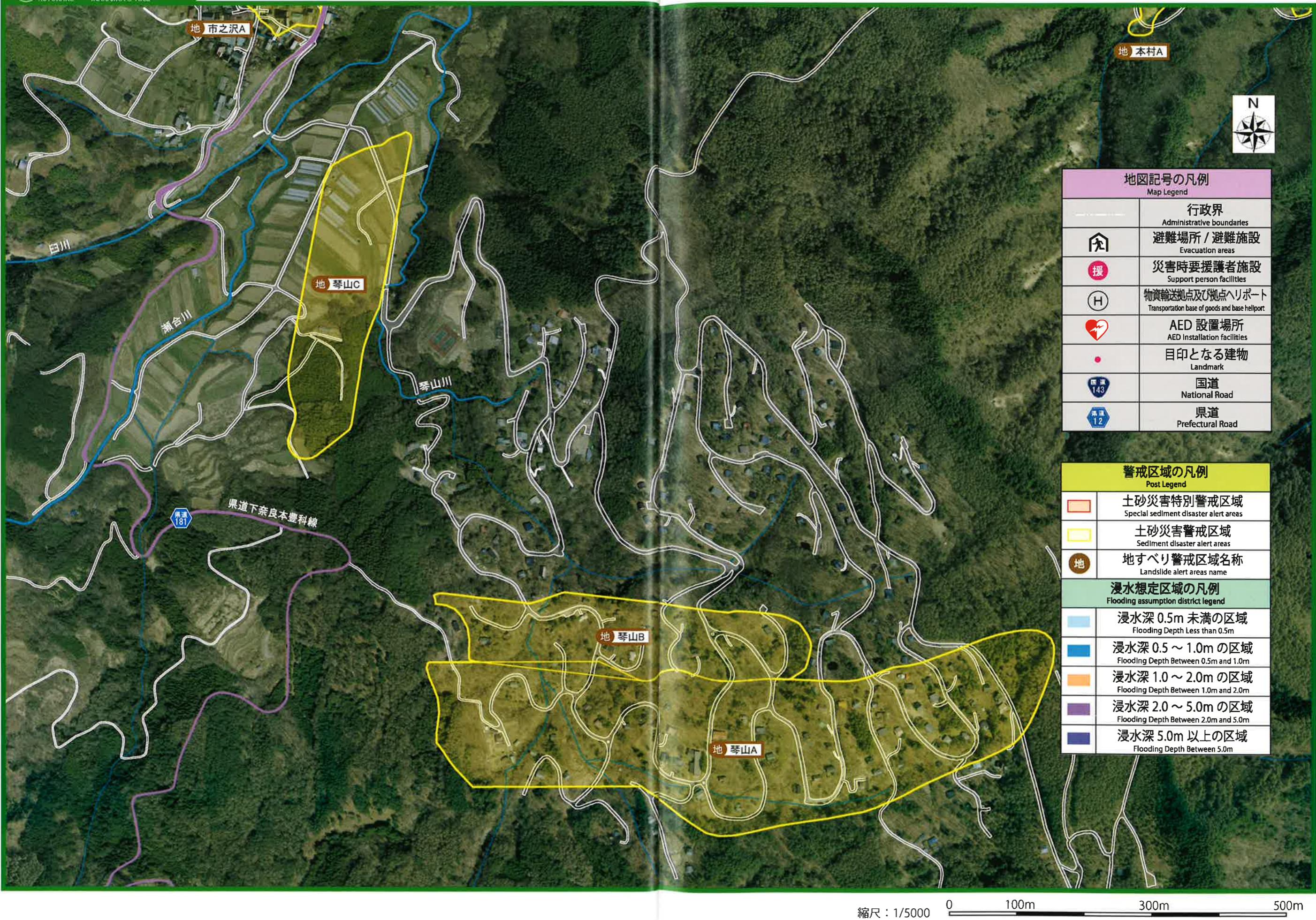
⑤ 奈良本地区①  
KUTUKAKU INARAMOTO Area



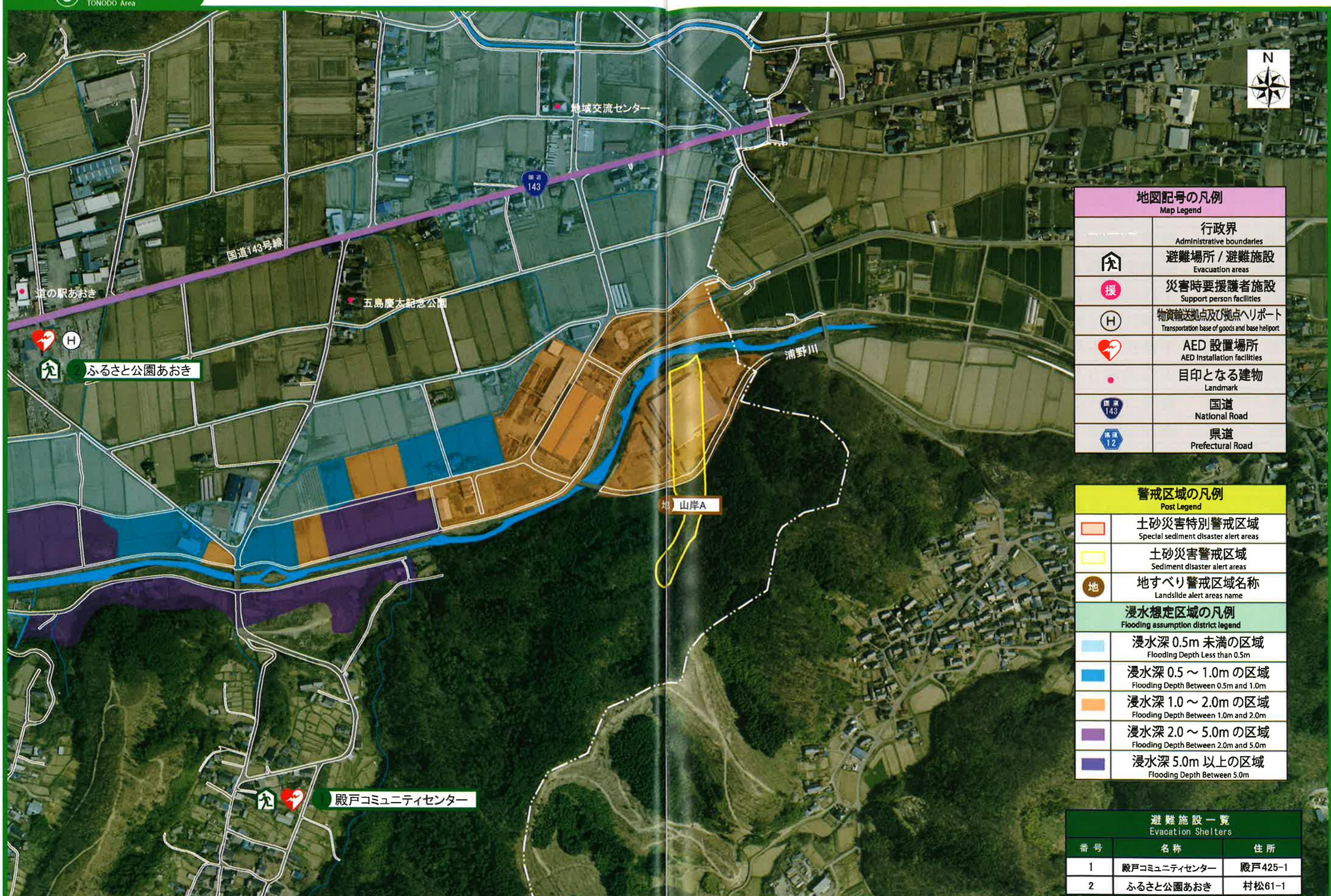
⑥ 奈良本地区(2)  
KUTUKAKU INARAMOTO Area



⑦ 遮掛・奈良本地区③  
KUTUKAKU INARAMOTO Area



⑧ 殿戸地区  
TONODO Area



縮尺：1/5000 0 100m 300m 500m

避 難 所 一 覧		
避難対象地区名	避 難 施 設 名	AED の設置
当郷	当郷公民館	○
村松	アイリスの館	○
木立洞	木立公民館	○
原池	原池公民館	—
弘法	弘法公民館	—
中村	中村生活改善センター	○
中挾	中挾防災研修センター	○
下奈	下奈良本ふれあいセンター滝の館	○
入奈	入奈良本コミュニティ防災センター	○
沓掛	沓掛コミュニティセンター	○
夫神	夫神公民館	○
細谷	細谷公民館	○
殿戸	殿戸区コミュニティセンター	○
青木	義民の郷ふれあいセンター	○
市之沢	市之沢集会場	—
湯原	湯原公民館	—
広 域 避 難 施 設		AED の設置
青木村文化会館		○
青木小学校体育館		○
青木中学校体育館		○
青木村総合体育館		○
青木村保健センター		○
ふるさと公園あおき		○

要 援 護 者 関 連 施 設		
施 設 名	電 話 番 号	AED の設置
青木保育園	49 - 2063	○
青木小学校	49 - 2009	○
青木中学校	49 - 2028	○
青木診療所	49 - 2031	○
ラポートあおき	49 - 1111	○
老人福祉センター	49 - 2129	○
クロスロードあおき	49 - 0604	○

物資輸送拠点及びヘリポート		
種 别	名 称	所 在 地
物資輸送拠点	総合体育館	青木村大字田沢 3267
ヘリポート	ふるさと公園あおき	青木村大字村松 61-1